公益社団法人 宮崎県看護協会

会報 Vol.134
平成31年4月25日発行

なでしこ宮崎

宮田眼科病院

CONTENTS

P2 会長挨拶

通常総会・職能集会のお知らせ

P2 宮崎県看護協会 通常総会・職能集会プログラム
P3 2019 年 役員等選出
2020 年度 日本看護協会通常総会並びに職能集会
P4 2018 年度 決算報告（案）並びに監査報告
P4〜P9 2019 年度 重点事業並びに事業計画

P10〜P11 研修会・交流会の開催報告
・宮崎県保健師助産師看護師等実習指導者講習会
フォローアップ研修
・リスクマネジャー交流会
・専門看護師・認定看護師研修会
・専門看護師・認定看護師からみなさまへ（第 12 回）
『意思決定を支える在宅ケア。地域の宝探しで安心充実！』
P12〜P13 平成 30 年度 宮崎県看護研究学会
P14〜P15 宮崎県ナースセンターからのお知らせ
在宅支援室よりお知らせ
P16 平成 30 年度理事会報告
Let`s take a break
編集後記

2019年度会員数
(平成31年4月15日現在)

○保健師	200名
○助産師	224名
○看護師	6,664名
○准看護師	486名
合計	7,574名

年度初めのご挨拶

若葉の緑が目にしみる季節となりました。

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

３０年度の協会事業も、各理事をはじめ皆様方のご理解とご協力により円滑に運営することができました。心より感謝申し上げます。

新年度がスタートし、やがて一月になろうとしていますが、新人の皆さんはいくらか職場環境に慣れてきたでしょうか。宮崎県看護協会では、今年度も新人看護職員研修推進事業等をとおして、新人が職業人としての態度を身につけながら、看護にやりがいを感じ、成長していけるようサポートしてまいります。

さて、昨年度は「働き方改革関連法」が成立し、この4月から時間外労働の上限規制や年次有給休暇の確実な取得など順次施行されています。

安全で質の高い医療・看護を提供するためにも看護職が生涯にわたって健康で安全に働き続けられる職場環境や労働条件の整備を進めていかなくてはなりません。

2025年を目前にし、医療・看護を取り巻く状況は大きく変化しています。そのような中で私たち看護職への役割期待に応えるために何をすべきか、看護のありようを考えていくことが求められています。

新元号は「令和」、新しい時代の中で動向を読み、専門職能団体として果たすべき役割は何かを見極めながら、活動してまいります。今後とも皆様のご理解ご支援をお願い申し上げます。

６月１５日（土）宮崎県看護協会通常総会・職能集会開催予定です。今年度も地域包括ケアシステムの推進をはじめとして３つの重点事業を推進してまいります。みなさまのご参加をお待ちしています。

公益社団法人　宮崎県看護協会
会長　中武 郁子

2019年度 公益社団法人宮崎県看護協会通常総会並びに職能集会

日　程 2019年6月15日(土)　**会　場** 宮崎県看護等研修センター

職能集会プログラム 9時30分～12時00分

保健師職能集会〈会場:中研修室 70人収容〉

9:00	開　場
9:20	オリエンテーション
9:30	開　会
	1. 職能委員長あいさつ
	2. 平成30年度宮崎県看護協会保健師職能委員会活動報告
	3. 2019年度宮崎県看護協会保健師職能委員会活動計画
9:50	講演　「災害時における保健師の初動対応について(仮)」
	講師　鹿児島県若年性認知症支援コーディネーター
	堀之内広子 氏　(元鹿児島県統括保健師)
11:00	保健師カフェ(グループワーク)
	テーマ　「自分の住んでいる市町村における災害時の保健師の初動対応について(仮)」
	助言者　堀之内広子 氏
12:00	閉　会

助産師・看護師 合同職能集会〈会場:大研修室 500人収容〉

9:00	開　場
9:20	オリエンテーション
9:30	開　会
	1. 職能委員長代表あいさつ
	2. 平成30年度宮崎県看護協会助産師職能委員会活動報告
	3. 2019年度宮崎県看護協会助産師職能委員会活動計画
	4. 平成30年度宮崎県看護協会看護師職能委員会Ⅰ活動報告
	5. 2019年度宮崎県看護協会看護師職能委員会Ⅰ活動計画
	6. 平成30年度宮崎県看護協会看護師職能委員会Ⅱ活動報告
	7. 2019年度宮崎県看護協会看護師職能委員会Ⅱ活動計画
10:10	講演　「自然災害時に看護専門職として、何が求められているか(仮)」
	～過去の災害医療の体験からの学び～
	講師　石巻市立病院看護部長　崎山晶子　氏
12:00	閉　会

通常総会プログラム 13時15分～16時35分

12:15	開　場
13:05	オリエンテーション
13:15	開　会
	物故会員への黙祷
	会長あいさつ
	来賓祝辞／来賓紹介
	宮崎県看護協会長表彰
	各種表彰受賞者紹介
	日本看護協会長表彰
	「看護の日」記念宮崎県知事表彰
14:00	議長団選出
	議事録署名人任命
14:10	議決事項
	第一号議案　２０１９年度役員等選出
	２０２０年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出選挙
14:40	２０２０年度選挙管理委員会委員の指名
14:45	第二号議案　平成３０年度決算報告(案)並びに監査報告
15:10	休憩
15:20	報告事項
	報告事項１　平成３０年度理事会報告
	報告事項２　平成３０年度事業報告
	報告事項３　２０１９年度重点事業並びに事業計画
	報告事項４　２０１９年度収支予算
16:15	選挙結果報告
	新役員紹介／議長団退出
	退任役員代表あいさつ
	日本看護協会歌「光求めて」合唱
16:35	閉　会

第一号議案

2019年度 役員等選出
2020年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

役員候補者紹介

（候補者の公示：平成31年4月25日）

会　長

定数：1　改選：1　候補者：1

推薦委員会推薦　**中武　郁子**

〔協会活動歴〕現宮崎県看護協会会長 等
〔抱負〕保健・医療・福祉を取り巻く環境が激変する中、宮崎県の看護職能団体として、県民の期待に応えられるよう協会事業を推進してまいります。また現場の声を真摯に受け止め、日本看護協会と連携しながら課題解決に向けて役割・責任を果たしてまいります。

副会長

定数：2　改選：2　候補者：2

推薦委員会推薦　**黒木　智子**

〔協会活動歴〕現宮崎県看護協会副会長 等
〔抱負〕地域包括ケアの実現や災害支援への取組み等、看護職への期待と役割が今後益々高まり、看護協会は重要な役割を担っています。看護職同士の絆を強め、資質の向上ややりがいを持ち働き続けられる環境の整備に微力ながら尽力したいと思っています。

推薦委員会推薦　**内田　三代子**

〔協会活動歴〕現宮崎県看護協会副会長 等
〔抱負〕あらゆる場面・あらゆる人への看護が求められ、看護の活躍の場はますます広がっています。一人ひとりの看護職がやりがいを感じながら専門性を発揮でき、ひいては県民が安心・安全に暮らせるまちづくりに繋がるような協会活動を目指したいと思います。

常務理事

定数：2　改選：2　候補者：2

推薦委員会推薦　**江川　千鶴子**

〔協会活動歴〕現宮崎県看護協会常務理事 等
〔抱負〕昨年常務理事として看護協会の事業に携わり、看護職そして職能団体である看護協会の存在意義を強く認識した1年でした。地域包括ケアの推進には看看連携、多職種連携が大変重要ですがまだまだ不十分です。看護協会としてこれらの課題に取り組み推進していけるよう頑張りたいと思います。

推薦委員会推薦　**橋満　升子**

〔協会活動歴〕現宮崎県看護協会常務理事 等
〔抱負〕常務理事に就任して2年目になります。地域包括ケアシステムが進む中、看護職への期待は、ますます拡大しています。看護職が、あらゆる場で役割発揮できるように教育活動をとおして、人材育成の推進に取り組んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

保健師職能理事

定数：1　改選：1　候補者：1

推薦委員会推薦　**齊藤　皆子**

〔協会活動歴〕現保健師職能理事 等
〔抱負〕社会ニーズの変化から、多職種連携の重要性が言われる中、職能委員会では、昨年に引き続き統括保健師の配置や災害に関する保健師のスキルアップ、会員間のネットワークの強化など地域の健康課題や人材育成に取り組んでいきたいと思います。

助産師職能理事

定数：1　改選：1　候補者：1

推薦委員会推薦　**緒方　清子**

〔協会活動歴〕現助産師職能理事 等
〔抱負〕助産師職能は、すべての妊産褥婦と新生児に助産師のケアを提供することを目標としています。しかし、助産師の就業先の偏在や助産実践を積み重ねる機会の不足等が課題となってきています。このような状況はありますが、今後も助産師実践能力の強化とアドバンス助産師の育成に取り組んでいきたいと思います。

看護師職能Ⅰ理事

定数：1　改選：1　候補者：1

推薦委員会推薦　**中村　小夜子**

〔協会活動歴〕現看護師職能Ⅰ理事 等
〔抱負〕地域包括ケアにおける看護提供体制の構築や新たな認定看護師制度の推進等、看護職の役割拡大が益々期待されています。看護職が、社会の期待に応え、やりがいや誇りを持って働き続けられることができるような取り組みを皆様と協力しながら進めていきたいと思います。

看護師職能Ⅱ理事

定数：1　改選：1　候補者：1

推薦委員会推薦　**岩村　優子**

〔協会活動歴〕現看護師職能Ⅱ理事 等
〔抱負〕数年前から地域包括ケアにむけ、多職種参加型の研修を企画するなどしてきました。日本看護協会の重点政策・事業にもあがっている地域包括ケア時代の新たな看護サービスの提案には看護師職能Ⅱ領域の看護職の役割が重要になってきます。平和に暮らせる地域作りに参画できるよう企画運営を更に充実させます。

【地区理事候補】

定数：7（7地区に各1）　改選：7　候補者：7

延岡・西臼杵地区

推薦委員会推薦　**頭師　佳代子**

〔協会活動歴〕現延岡・西臼杵地区理事 等
〔抱負〕皆様のご協力とご支援で、地区理事2年目に入ります。今期も継続して看護の質向上と地域包括ケアシステム構築を目指し、多職種連携強化に取り組んで参りたいと思います。宜しくお願いいたします。

日向・東臼杵地区

推薦委員会推薦　**黒木　雅代**

〔協会活動歴〕現日向・東臼杵地区理事 等
〔抱負〕地区理事として4年経過いたしました。地域の課題もますます多様化し、看護職はもとより、多くの方々と協力体制で臨む活動も増えてきました。微力ではありますが、これまでのご支援に感謝の気持ちを持って、力を尽くしてまいります。宜しくお願いいたします。

西都・児湯地区

推薦委員会推薦　**近藤　春代**

〔協会活動歴〕教育委員、推薦委員 等
〔抱負〕前地区理事からしっかりバトンを受取り、看護協会をはじめ地区委員や多職種の方々と連携し、看護職の質向上を目指していきたいと思います。また、この活動を通して地域の医療や看護に貢献できるよう努力してまいります。ご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

宮崎・東諸県地区

推薦委員会推薦　**新原　幸子**

〔協会活動歴〕看護師職能Ⅰ委員、推薦委員 等
〔抱負〕今回貴重な機会を頂き感謝申し上げます。今後はあらゆる場で看護の提供が必要になります。看護の質向上の為にも、地域のネットワークを強みとし、役員一丸となって地区活動を推進していきたいと存じます。皆様のご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

都城・北諸県地区

推薦委員会推薦　**藤本　雪美**

〔協会活動歴〕現都城・北諸県地区理事 等
〔抱負〕地区理事として運営委員の皆様に支えられ3年目を迎えました。地域包括ケアシステムの構築に向けて他職種と連携をとり、更に看護職の繋がりを強くするための活動を目指していきたいと思います。ご支援、ご指導をよろしくお願い致します。

小林・えびの・西諸県地区

推薦委員会推薦　**田中　紀美代**

〔協会活動歴〕地区運営委員
〔抱負〕これまでの地区理事や委員の方々が構築されてきた活動を継続し、地区委員と連携し多職種間の交流会がさらに深まるよう努めていきます。また、看護の質向上を目指し、地区活動の充実に取り組んでまいりますので、皆様方のご指導と、ご支援をよろしくお願い致します。

日南・串間地区

推薦委員会推薦　**山口　康子**

〔協会活動歴〕推薦委員、地区運営委員 等
〔抱負〕はじめての地区理事の活動で何もわかりませんが、地区の皆様のつながりを更に深めていきたいと思います。看護職の質の向上と地域包括ケアシステム構築を目指し、多職種連携強化に取り組んで参りたいと思います。ご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

准看護師理事

定数：1　改選：1　候補者：1

推薦委員会推薦　**﨑村　真由美**

〔協会活動歴〕看護師職能委員
〔抱負〕国の「働き方改革関連法」の導入により看護職の働くルールも見直されています。質の高い看護が提供できる為に、研修会の案内や進学制度について発信し皆様の期待に応えられるよう精一杯頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

2020年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者(案)

2020年度日本看護協会 代議員候補

定数:9

番号	氏　名	職能別	役職等
1	内田　三代子	保健師	副会長
2	江川　千鶴子	保健師	常務理事
3	齊藤　皆子	保健師	保健師職能理事
4	緒方　清子	助産師	助産師職能理事
5	中村　小夜子	看護師	看護師職能Ⅰ理事
6	岩村　優子	看護師	看護師職能Ⅱ理事
7	﨑村　真由美	准看護師	准看護師理事
8	黒木　雅代	看護師	日向・東臼杵地区理事
9	頭師　佳代子	看護師	延岡・西臼杵地区理事

2020年度日本看護協会　予備代議員候補

定数:10

番号	氏　名	職能別	役職等
予備1	黒木　智子	保健師	副会長
予備2	橋満　升子	看護師	常務理事
予備3	小野　智美	保健師	保健師職能委員
予備4	白池　晶	助産師	助産師職能委員
予備5	沼口　留美子	助産師	助産師職能委員
予備6	大塚　民子	看護師	看護師職能委員(Ⅰ領域)
予備7	馬越脇　直子	看護師	看護師職能委員(Ⅱ領域)
予備8	田畑　優子	准看護師	看護師職能委員(Ⅰ領域)
予備9	新原　幸子	看護師	宮崎・東諸県地区理事
予備10	田中　紀美代	看護師	小林・えびの・西諸県地区理事

お知らせ

宮崎県看護協会役員及び日本看護協会代議員・予備代議員について、推薦候補者のほかに立候補を募りましたところ、締切日（平成30年2月16日）までに届け出がありませんでしたのでお知らせします。

2019年度推薦委員候補者

定数:6

氏　名	施設名
山下　千夏	南部病院
東原　美由紀	市民の森病院
釘﨑　信	西都病院
甲斐　文子	谷村病院
塩田　栄子	都城保健所
中尾　登代子	介護老人保健施設おびの里

2020年度選挙管理委員会委員

氏　名	職能別	施設名
木佐貫　菜々子	保健師	日南保健所
湯浅　宏美	保健師	小林保健所
岩岡　可織	助産師	県立延岡病院
萬壽　裕子	助産師	国立病院機構都城医療センター
横山　智美	看護師Ⅰ	城山病院
河野　秀代	看護師Ⅰ	都農町国民健康保険病院
赤松　ひとみ	看護師Ⅱ	ひまわり訪問看護ステーション
馬越脇　直子	看護師Ⅱ	池井病院訪問看護ステーションひとみ

第二号議案　平成30年度決算報告(案)並びに監査報告

2019年5月25日開催の理事会の承認を経て、翌日以降のホームページ等でお知らせします。

委任状について

当日通常総会に出席できない方は、委任状を5月22日(水)までにご提出ください。
委任状は、入会の施設及び個人会員の皆さまへの総会のご案内に同封しています。また、宮崎県看護協会ホームページからもダウンロードできます。

2019年度重点事業並びに事業計画

重点事業

1. 地域包括ケアシステムの推進
2. 看護職の労働環境の整備の推進
3. 看護職の役割拡大の推進と人材育成

1．看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業（公益目的事業）

※太ゴシックは新規計画

事業項目	事業内容
1-1) 継続教育の推進	(1)2019年度教育の企画・実施 ①「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 ②ラダーと連動した継続教育 ③看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 ④専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 ⑤資格認定教育 ⑥7地区における看護の質向上のための研修 (2) 教育研修計画の広報 (3) 会員専用ページ「キャリナース」への研修受講履歴の提供によるキャリア構築の支援 (4) 教育委員会の開催（委員12名：定例9回/年、企画会議3回） (5) 継続教育プログラム開発研修会、日本看護学会教育関連の学会、研修会等への参加 (6) 研修実施報告書の作成

※太ゴシックは新規計画

事　業　項　目	事　業　内　容
1-2) 新人看護職員研修推進事業 （宮崎県委託研修）	(1) 新人看護職員研修の計画・実施 ①新人看護職員合同研修 ②新人看護職員研修責任者研修 ③新人看護職員教育担当者研修 ④新人看護職員実地指導者研修 (2) 研修計画・実施について広報 (3) 新人看護職員研修推進協議会の開催 (4) 新人看護職員研修に関連する学会、研修会への参加 (5) 研修実施報告書の作成
1-3) 認定看護管理者教育の推進	①認定看護管理者教育ファーストレベル教育課程の実施　2019年5月14日～8月30日（105時間） ②ファーストレベル教育課程修了者フォローアップ研修　2019年6月28日 ③認定看護管理者教育セカンドレベル教育課程の実施　2019年10月3日～2020年1月24日（183時間） ④認定看護管理者教育運営委員会開催（委員9名　年6回） ⑤看護管理学会、日本看護学会等への参加
1-4) 専門・認定看護師活動の支援	①専門看護師・認定看護師研修会の開催　2019年7月14日 ②専門・認定看護師委員会開催（委員6名　年4回） ③人的資源活用 ④専門看護師・認定看護師の分野を越えたネットワーク構築 ⑤専門・認定看護師が協働して企画する看護職対象研修の開催　2020年1月25日 ⑥県内看護職・県民への情報発信
1-5) 看護学会等学術振興の支援	①宮崎県看護研究学会の開催　2020年3月7日 ●看護研究学会委員会開催（委員6名　年7回） ●看護研究抄録選考委員会開催
1-6) 実習指導者講習会の支援 （宮崎県委託事業）	①宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会開催 ●8Wコース　2019年6月11日～8月7日（41日間） ●特定分野コース　2019年7月30日～8月28日（8日間） ②実習指導者講習会修了者フォローアップ研修開催 ③実習指導者検討委員会開催（委員5名　年9回）
1-7) 研修環境の整備・管理	①購入雑誌・図書の検討及び見直し ②教材機器の整備・管理

2．看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事　業　項　目	事　業　内　容
2-1) 働きやすい職場環境づくり の推進と事業支援	①看護職の働き方改革の推進に向け、健康で安心して働くことができる職場づくりの推進 ●働き続けられる職場環境づくり推進委員会開催（委員8名　年7回） ●看護職の働き方改革推進研修会の開催 ●看護職の賃金モデル研修実践編　2019年8月22日～23日 ●「労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」ガイドラインの研修会 開催　2019年12月19日 ●働き続けられる労働環境づくりを推進する施設の支援 ②看護職離職防止支援(定着支援) ③関係団体との連携 宮崎県医師会、宮崎労働局、宮崎県医療勤務環境改善支援センター、宮崎県働き方改革推進支援センター、宮崎県社会保険労務士会、宮崎県福祉保健部等
2-2) 就業支援（ナースバンク事業） （宮崎県委託事業）	①NCCSを活用した職業紹介の円滑化、正確で就業に効果的な情報の提供 ②看護師等の届出制度のPRと就業支援の充実 ●7地区及び看護師養成学校へのＰＲ活動 ●届出登録者への就業に関する調査の実施 ③ナースセンター広報活動 ●ナースセンターだよりの発行（年2回） ●SNS（LINE @）による情報発信の強化 ●ナースセンターPRグッズ作成 ●県内看護学校卒業生へのPRグッズの配布 ④ハローワークにおける就業相談の実施 ●就業支援相談運営会議（年2回） ●ハローワーク宮崎、延岡、日向、高鍋、都城、小林、日南での就業相談 ⑤看護職の働きやすい職場づくりに関する情報発信 ⑥求人施設への労働条件の改善に関する情報提供、助言 ●働き方改革関連法案等の情報提供 ●求人施設訪問の強化 ⑦求職者への労働環境・労働条件の改善に関する情報提供、助言 ●施設見学会の開催 ⑧宮崎県ナースセンター事業運営委員会の開催（年1回） ⑨ハローワーク、福祉人材センターとの連携 ⑩ナースセンター・ハローワーク連携事業 ⑪中央ナースセンターとの連携
2-3) 復職支援事業 （宮崎県委託事業）	①講義･演習コースの開催　2019年6月（3日間)､2019年9月（3日間)､2019年12月（3日間） ②採血・点滴技術演習の開催（毎月第4水曜日） ③復職支援交流カフェの開催（毎月第4水曜日） ④協力機関での実習コースの開催 **⑤セカンドキャリアに関する求人施設への実態調査の実施** ⑥地区別復職支援研修の開催 ⑦2019年度受講生に対する就業状況調査・就業支援

※太ゴシックは新規計画

事　業　項　目	事　業　内　容
2-4)「看護の心」普及事業 （宮崎県委託事業（①を除く））	①看護の日のイベントの開催　2019 年 5 月 11 日 ●「みやざきナース Today2019」の開催 ●「看護進路説明会 2019」の開催 ②看護の出前授業の実施 ③「ふれあい看護体験 2019」の実施　2019 年 7 月 24 日～ 26 日、30 日～ 31 日、8 月 1 日 ④ふれあい看護体験作文の優秀賞のホームページ掲載、広報誌への掲載 ⑤看護系進学状況調査の実施 ⑥中高校生の職業選択に関するイベントへの協力

3. 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業（公益目的事業）

事　業　項　目	事　業　内　容
3-1) 看護制度に関する事業 (1) 看護制度についての啓発	①看護制度に関する検討 ●日本看護協会が実施する各種調査に協力し、本会事業の参考とする ②看護師教育制度に関する検討及び情報提供・認定看護師等の育成並びに活動支援 ③看護師等教育制度の情報発信 ④看護制度について県民等への啓発 ⑤看護制度委員会開催（委員 6 名　年 3 回）
(2) 准看護師から看護師への進学支援	①看護師養成 2 年課程（通信制）進学者への支援 ②准看護師からの相談対応 ③奨学金貸与に関する情報提供 ④非会員准看護師への入会案内と研修会参加案内
(3) 進路相談	①看護師課程進学への啓発活動 ②進路指導担当教諭、中・高校生及び保護者へのPR
3-2) 看護業務の改善に関する事項 (1) 県や関係団体の各種審議会等での発言・提言	①関係機関・団体等への働きかけ ②審議会等で本会意見の反映
(2) 職能委員会活動 ⅰ保健師職能委員会活動	①委員 6 名　委員会年 12 回開催 ②保健師職能集会　2019 年 6 月 15 日 ③保健師職能研修会　2019 年 7 月 27 日 ④宮崎県保健師現任教育推進会議（2 回）（県、県立看護大学との協働） ⑤日本公衆衛生看護学会学術集会（愛媛県）2020 年 1 月 11 日、12 日 ⑥保健師職能だよりの発行
ⅱ助産師職能委員会活動	①委員 6 名　委員会年 13 回開催 ②助産師職能集会　2019 年 6 月 15 日 ③「いいお産の日」イベント　2019 年 11 月 9 日 ④助産師職能研修会 ●第 1 回助産師職能研修会　2019 年 7 月 27 日 ●第 2 回助産師職能研修会　2020 年 1 月 25 日 ⑤九州地区看護協会助産師職能合同研修会　2019 年 10 月 19 日 **⑥日本看護学会 - 看護管理 - 学術集会　2019 年 10 月 23 日～ 24 日**
ⅲ看護師職能委員会Ⅰ 病院領域活動	①委員 10 名　委員会年 12 回開催 ②看護師職能集会　2019 年 6 月 15 日 ③研修会 ●准看護師研修・交流　2019 年 11 月 2 日 ●看護師職能委員会Ⅱとの合同研修　2019 年 10 月 5 日 **④実態調査** **●看護師のクリニカルラダーの活用状況調査**
ⅳ看護師職能委員会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域活動	①委員 8 名　委員会年 12 回開催 ②看護師職能集会　2019 年 6 月 15 日 ③研修会 ●看護師職能Ⅱ研修会　2019 年 8 月 24 日 ●看護師職能委員会Ⅰとの合同研修　2019 年 10 月 5 日

4. 県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（公益目的事業）

事　業　項　目	事　業　内　容
4-1) 地域包括ケアシステムの推進	①看護職と他職種との交流会 ②地域医療構想調整会議等への参画
4-2) 救急医療に関わる看護職の資質向上の推進	①研修会の開催 ●救急看護 ●小児救急看護 ●災害救急看護 ●精神科救急看護
4-3) 県民の健康づくり推進に関する事業 (1) まちの保健室事業の普及啓発	①常設型「まちの保健室」開催（7 地区で開催） ②地域支援型・イベント型「まちの保健室」 宮日グレイス講演会、市町村まつり・イベント等地域活動支援 ③まちの保健室地区代表者委員会開催（委員 13 名　年 5 回） ④まちの保健室協力員の養成研修と登録の推進（7 地区で開催） ⑤地区別協力員会議
(2) 生涯を通じた女性の健康支援	①「いいお産の日」イベントにおける相談啓発

事　業　項　目	事　業　内　容
(3) がん対策支援	①ピンクリボン活動の普及啓発 ②関係団体との連携 ③研修会の開催
(4) 生活習慣病並びに疾病予防対策	①世界糖尿病デー、肝疾患・腎疾患・リウマチ等関連会議・イベント等の参加による予防対策の啓発 ②自殺対策研修事業の実施（宮崎県委託事業） ●看護師等専門研修会の開催（自殺対策研修） ●地区別研修会の開催 ●自殺対策相談・まちの保健室相談員の養成講座の開催 ③「ライフネット宮崎」自殺電話相談の実施（宮崎県委託事業） ●相談員として会員を派遣 ④高齢者対策への取り組み ●研修会の開催 ●看護職員認知症対応力向上研修の開催（宮崎県委託事業）
4-4) 子育て支援	①小児救急相談マニュアルの活用 ②児童虐待予防対策への取り組み ●宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会への参加 ③宮崎県「未来みやざき子育て県民運動推進事業」への協力 ④育児中の看護職対象研修会の開催

5．医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業（公益目的事業）

事　業　項　目	事　業　内　容
5-1) 医療安全推進事業	①研修会及び交流会の開催 ●医療安全管理者養成研修会　2019年10月4日～11月24日 ●宮崎県リスクマネジャー交流会　2019年12月14日 ●医療安全研修会　2019年9月7日 ②医療安全対策推進 ●医療安全推進週間の啓発 ●医療安全情報提供 ●7地区における医療安全推進の研修 ●地区における医療安全推進の支援 ③医療安全推進会議（年1回） ④九州厚生局医療安全ワークショップへの参加（年1回） ⑤看護職賠償責任保険制度加入の促進 ⑥医療安全推進委員会開催（委員10名　年6回）
5-2) 災害看護活動の推進	①災害支援ナース養成事業 ●災害看護研修会（基礎編）2日間（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ配信研修）　2019年7月18日～19日 ●災害看護研修会（実践編）2日間　2019年9月13日～14日 ●7地区における災害看護支援研修 ●災害看護研修（管理者編）2日間　2019年8月2日～3日 ●災害支援ナースフォローアップ研修会　2019年10月19日 ②災害支援ナース登録管理 ③日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加を通じた実動訓練 2019年11月5日～7日 ④日本看護協会との「災害支援ナース派遣に関する協定」に基づく災害支援ナースの派遣 ⑤宮崎県との「災害時における健康相談・健康管理業務に関する協定」に基づく災害支援ナースの調整・派遣 ⑥宮崎県、市町村の防災会議・防災訓練等への参加を通じた実動訓練 ⑦災害看護地区代表者委員会の開催（委員7名　年6回）
5-3) 感染対策	①感染管理研修会の開催 ②宮崎県感染症対策審議会への参加

6．在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業（公益目的事業）

事　業　項　目	事　業　内　容
6-1) 訪問看護等推進事業 （宮崎県委託事業）	①訪問看護推進協議会運営事業 ●宮崎県訪問看護推進協議会の開催（委員14名　年1回） ●訪問看護実態調査の実施 ②訪問看護人材育成事業 ●訪問看護研修STEP1（訪問看護eラーニング活用）　2019年5月9日～11月16日 ●訪問看護研修STEP2 ⅰ小児・重症児の看護　2019年7月6日～10月12日 ⅱ難病患者の看護　2019年6月1日～9月21日 ●在宅ケアに関心のある看護職のための公開講座 ●訪問看護管理者研修（ベーシックコース）　2019年4月20日～11月9日 ●訪問看護師養成コアカリキュラム研修（年2回） 1回：2019年8月26日～8月30日 2回：2019年9月2日～9月6日 **③看護人材交流支援事業** **●専門看護師・認定看護師による派遣支援・研修** **●医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修** **●訪問看護管理者研修（地区開催）**

※太ゴシックは新規計画

事　業　項　目	事　業　内　容
6-1) 訪問看護等推進事業 （宮崎県委託事業）	④訪問看護相談支援事業 ●訪問看護に関する相談対応及び情報提供 ●訪問看護パンフレット作成 **●訪問看護ステーションの情報発信** ⑤宮崎県及び宮崎県立看護大学との協働事業
6-2) 在宅・福祉関係施設等への支援	①訪問看護啓発活動・PR 用パンフレットの活用と広報 ②宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会との協働 ③７地区における在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修
6-3) 看護協会訪問看護ステーション事業所の運営事業	①看護協会訪問看護ステーション運営協議会の開催（委員９名　年４回） ●事業内容・課題等について検討 ②訪問看護ステーションなでしこ１～３号館の運営 ●訪問看護事業 ●居宅介護支援事業 ●居宅療養管理指導事業 ●看護学生・看護職の実習教育 ●関連機関との連携・協力
6-4) 介護保険制度の適切な運用の推進	①関係機関団体との連携・協力（宮崎県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員） ②行政の介護認定審査会委員に会員を推薦 ③行政の障害程度区分認定審査会委員に会員を推薦

7．その他本会の目的を達成するために必要な事業

事　業　項　目	事　業　内　容
７-1) 組織に関する事項 (1) 本協会組織の充実と強化	①看護政策推進のための組織強化事業 ●新人看護職になる学生へのアプローチの強化 ●既存の会議等を活用した入会促進 ●機会を有効活用した啓発 ●情報の見える化を進め、情報発信力を高める ②会員の加入増加拡大 ●会員目標数　8,750 名 ●入会案内パンフレットの配布 ●入会の問い合わせ・相談対応 ●看護学生（准看護学生）への働きかけ ●退職後の会員継続の働きかけ ③地区活動の推進 ●７地区での協会活動の推進、各委員会との連携等 ●地区別施設代表者会議の開催 ④日本看護協会との連携 ⑤諸会議の開催 ●2019 年度通常総会　2019 年６月 15 日 ●理事会・常任理事会開催　年６回以上 ●職能集会　2019 年６月 15 日 ●職能・常任・特別委員会 ｱ 保健師職能委員会（委員６名　年 12 回） ｲ 助産師職能委員会（委員６名　年 13 回） ｳ 看護師職能委員会Ⅰ（委員 10 名　年 12 回） ｴ 看護師職能委員会Ⅱ（委員８名　年 12 回） ｵ 推薦委員会（委員６名　年４回） ｶ 教育委員会（委員 12 名　年 12 回） ｷ 働き続けられる職場環境づくり推進委員会（委員８名　年７回） ｸ 広報出版委員会（委員 10 名　年 12 回） ｹ 認定看護管理者教育運営委員会（委員９名 年６回） ｺ 実習指導者講習会検討委員会（委員５名　年９回） ｻ 学会委員会（委員６名　年７回） ｼ 看護制度委員会（委員６名　年３回） ｽ 医療安全推進委員会（委員 10 名　年６回） ｾ まちの保健室地区代表者委員会（委員 13 名　年５回） ｿ 災害看護地区代表者委員会（委員７名　年６回） ﾀ 専門・認定看護師委員会（委員６名　年４回） ●選挙管理委員会（委員８名　年３回） ●日本看護協会代議員及び予備代議員研修会　2019 年５月 25 日 ●常任委員会・特別委員会合同委員長会　2019 年６月 22 日 ●施設代表者会議（全体会議１回）　2019 年 10 月１日 ●その他 ⑥監査及び審査に関すること ⑦広報活動に関する事業 **●宮崎県看護協会史編纂** ●広報出版委員会の開催（委員 10 名　年 12 回） ●広報誌「なでしこ」の発行（年４回）県協会の研修やイベント等の取材 ●ホームページの管理 ●メールマガジン配信 ●マスコミを通した広報 ●まちの保健室活動を会員や県民へ広報・啓発

※太ゴシックは新規計画

事　業　項　目	事　業　内　容
7-1) 組織に関する事項 (1) 本協会組織の充実と強化	⑧会員の福利厚生 ●宮崎県看護協会長表彰 ●日本看護協会名誉会員・日本看護協会長表彰その他の表彰候補者の推薦 ●弔意及び見舞い（火災、風水害等） ⑨役職員等の福利厚生 ●職員の健康診査 ●役員･委員等の公務災害保障など
7-2) 日本看護協会との相互協力 (1) 日本看護協会との連携	①日本看護協会への要望、提案 ②会員の入会、移動変更などの報告 ③日本看護協会ニュース発送に係る登録変更手続き
(2) 日本看護協会が開催する会議に関すること	①日本看護協会通常総会及び全国職能別交流集会（2019 年 6 月 6 日～ 7 日） ②理事会　年 6 回程度 ③法人会員会　年 6 回程度 ④全国職能委員長会 ⑤地区別法人会員会（福岡県開催） ⑥地区別職能委員長会（福岡県開催） ⑦都道府県看護協会看護労働担当者会議 ⑧日本看護学会運営会議 ⑨都道府県看護協会政策責任者会議 ⑩都道府県看護協会事務担当者会議 ⑪新会員情報管理体制（ナースシップ）担当者会議 ⑫訪問看護連絡協議会全国会議 ⑬全国准看護師制度担当役員会議 ⑭ナースセンター事業担当者会議 ⑮都道府県ナースセンター相談員研修 ⑯都道府県看護協会教育担当者会議 ⑰都道府県看護協会広報担当役員会議 ⑱医療安全推進会議 ⑲都道府県看護協会災害看護担当者会議
7-3) 渉外に関する事項 (1) 重点事業等に関する渉外活動	①県行政等への要望活動 ●国会議員・県議会議員・県行政関係機関への要望 ②関係機関等へ委員として参画
(2) 関係団体との協働事業連携	①県・市町村・保健医療福祉関係団体など ②四師会連携（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会） ③関係団体の後援
7-4) 施設管理に関する事項 (1) 宮崎県看護等研修センターの管理	①看護協会所有地（宮崎市学園木花台西 2-4-6） ②看護等研修センターの整備資金納入活動 ③整備資金管理システムによる整備資金の集中管理 ④施設・機器の管理 ●建物の長期補修計画に基づく整備 ●視聴覚機器の保守管理 ●コンピュータ等機器の保守管理 ●建物外周の維持管理（除草、植栽）
(2) 図書室の管理・運営	①図書の受入整備・蔵書点検 ②会員への図書貸し出し管理 ③文献複写サービスの案内 ④日本看護協会図書館との連携
7-5) 事務局の管理・運営 (1) 組織体制強化	①組織運営に必要な総務業務全般に関すること ②文書管理に関すること ●入会に関すること ●個人情報保護に関する管理・運用 ③目標管理の検討 ④諸規程・規則の整備 ⑤所内会議の開催 ⑥その他
(2) 会員登録に関する管理・運用	①宮崎県看護協会会員管理システムによる管理 ②新「会員情報管理体制」ナースシップシステムの運用
(3) 会計処理の円滑化	①コンピュータによるネットワーク管理 ②新公益法人会計基準（平成 20 年施行）会計ソフトによる管理
(4) 職員の研修	①自衛消防訓練 ②その他

● 研修会・交流会の開催報告

平成30年度 リスクマネジャー交流会

医療安全推進委員会　委員長　髙岩 真秀美

1月12日（土）にリスクマネジャー交流会を開催し、94名の方が参加されました。

午前は、医療安全推進委員長より医療安全推進委員会の活動報告があり、その後、上尾中央総合病院　情報管理特任副院長の長谷川剛先生より、「あらためて『確認』について考える」というテーマでご講演をしていただきました。「確認を行うタイミング（When）が大切である」「確認方法（How）より、なぜ確認が必要か（Why）を教えることが大切である」「患者への関心を持つことが欠かせない」など動画を用いてご教示いただきました。

午後は、「確認行為を組織全体に普及・定着させるためには」というテーマでグループワークを行いました。各々自施設の現状を含め問題と感じていることを積極的に出し合い、今後の普及・定着について活発な意見交換が行われていました。「参考になる情報があった」「充実感がえられた」などのご意見もあり問題解決の糸口も得られたのではないでしょうか。一人一人が患者に関心を持ち、患者に行われる医療行為の意味「なぜ？」を考えること、行為に潜む危険を予測すること、そして声に出すことを忘れず、医療安全に取り組んでいきましょう。

平成30年度 宮崎県保健師助産師看護師等実習指導者講習会フォローアップ研修

実習指導者講習会検討委員会　委員長　日向 加穂子

平成31年2月2日（土）に平成28年度～30年度の実習指導者講習会修了生を対象としてフォローアップ研修を行いました。平成28年度修了生5名、29年度4名、30年度34名で合計43名の方に参加いただきました。フォローアップ研修は、講習会受講後の実習指導上の課題、悩みについて話し合い、指導内容や指導方法のよりよい方向性を見出す機会とするために行っています。

各看護学実習領域に分かれワークし、各グループには、演習担当だった講師の先生方に入っていただきファシリテーターとしてワークを支援していただきました。ワークは、二部構成とし、①実習指導の実際 ②これからの取組みの方向性を確認しました。実習要項の理解や実習を効果的にするための環境づくり、学校教員との連携や指導者としての評価についてグループ内で活発なディスカッションが行われました。過去修了生3名の実習指導事例発表も行われ、実際の実習指導での工夫や課題の解決方法、成功体験等が発表され、看護教育の指導者として活躍されている様子を熱く語っていただきました。受講生の反応は、「講習会での学びを再確認することができた」「領域別にワークすることでより焦点を絞って進めることができた」「他施設や他領域の指導方法や工夫点を知ることができた」等、日頃の実習指導での悩みや課題を解決できる機会となったようでした。

何より受講生のみなさんの再会が、絆を深め、互いの気持ちの共有となり、悩みや戸惑いを取りはらって現状の自己課題を整理することにつながっていました。日頃忙しい中での実習指導ですが、この研修がみなさんのモチベーションを高め、実習指導者の役割や組織の目標を考えるきっかけになることを期待しております。研修生のみなさん、お疲れ様でした。私たちの後輩看護実習生をどうぞよろしくお願いいたします。今後、さらに多くの臨床指導者の方が受講されることを期待しております。

平成30年度 専門看護師・認定看護師研修会を開催しました！

専門・認定看護師委員会　委員長　三輪 真砂子

吉村学 教授

平成31年1月26日に、専門看護師・認定看護師研修会を開催しました。研修テーマを「地域包括ケアシステムを支え、つなぐ・つながるスペシャリストを目指して」とし、参加者は3分野6名の専門看護師と16分野66名の認定看護師の計72名でした。

在宅で活動する専門看護師・認定看護師の講義では、「在宅で活動する専門看護師・認定看護師が、一般病院の専門看護師・認定看護師に期待すること」がテーマでした。「感染管理認定看護師の立場から」串間真由美氏（けいめい記念病院）、「がん看護専門看護師の立場から」中村久美氏（訪問看護ステーションなでしこ3号館）、「皮膚・排泄ケア認定看護師の立場から」は特定行為研修修了者でもある長友真弓 氏（宮崎江南病院）が、患者さん・ご家族が療養の場を在宅により良く移行するためのご自身の看護実践や仕組み作りを報告しました。加えて、専門看護師・認定看護師が自施設でどのような活動をしたらより良い看看連携や他職種連携ができるのか、課題を提示していただきました。

宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座　吉村学教授には、「地域包括ケアシステムを支え、つなぐ・つながるスペシャリストを目指して」のテーマでご講演いただきました。また、先に看護実践報告をされた3名の活動内容をもとに、参加者に向けたアドバイスもいただき、地域包括ケアシステムの中で専門看護師や認定看護師がどのような連携を行うのかを再考する機会となりました。

午後は、各専門分野が考える「緩和ケア」の事例検討を、ワールド・カフェ方式のグループワークを行いました。この方法は2回目となりますが、様々な意見交換が行えるため、「リフレッシュに繋がった」「もっとグループワークがしたかった」等の意見があり、参加者の満足度は高い評価でした。「緩和ケア」の事例検討では、各分野がどのような看護が提供できるかを様々な専門的な視点で検討することができました。

ワールド・カフェで事例検討

平成31年2月現在、宮崎県には3分野12名の専門看護師と19分野137名の認定看護師が登録されています。地域包括ケアシステムを支え、つなぐ・つながるスペシャリストとなることで、宮崎県の看護の質向上に貢献できるよう、一人ひとりが行動していきたいと思います。

第12回 もう一度押さえておきたい 看護のコツ ～専門看護師・認定看護師からみなさまへ～

意思決定を支える在宅ケア。地域の宝探しで安心充実！

訪問看護認定看護師　堤育子（認定NPO法人ホームホスピス宮崎 訪問看護ステーションぱりおん）

皆様にとって気兼ねせず、ほっとできる場所はどこですか？旅行に行って帰ってきたら「やっぱり我が家が一番、日本食最高！」という言葉、一度ならず聴いたことがあるかと思います。やはり住み慣れた家ではないでしょうか。病院で最新の治療を受け、体調に不安がある方が退院します。その方はどこに帰りたいと思われているでしょうか。家ですか？施設ですか？家族の家ですか？独りで過ごすことを選択されますか？優先されるのは、介護力でしょうか、経済状態でしょうか？本人の選択を大切にと厚生労働省の地域包括ケアシステムの指針には表されています。ここで意思決定をしっかりと支えられる職種の一つが看護職であり、看護技術の見せドコロです。心に寄り添いコミュニケーションスキルをフルに使って、本人の選択を引き出す役割を担います。

あるひとりの住民の地域生活を支える地域包括ケアシステムの構成要素

出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

6人家族の長男T君
愛犬のマロンとも仲良し♪

現在の在宅ケアでは、独居の看取りや老老介護の人工呼吸器利用も珍しくなくなりました。**その人が望む生活をできるだけ叶えようとする在宅ケアチームが地域に必ずあります。**早い段階で看護やケアマネジャーに情報を流し、少しずつ「帰る地盤」を整えていけばその方が安心して過ごせる家が作れるはずです。正直なところ医療職だけでは力及びません。頼もしいヘルパー、元気な介護士、スーパー家政婦、幼馴染みのご近所さん、気軽に配達してくれる弁当屋さん・・・。患者さんをとりまく強力なサポーターが地域にいるはずです。どうぞ地域の訪問看護師に聞いてみてください。**地域の宝探し**を始めましょう。**病院と在宅チームの絆が強固であることで、一番恩恵を受けるのは療養者や家族なのです。**

写真は、ご本人・ご家族から使用許可を得て掲載しています。

平成30年度

宮崎県看護研究学会

平成31年3月2日(土)　参加者524名

特別講演

職場の基礎代謝
～職場の「不」を取り除き、元気な職場を作ろう～

白井 旬 先生（特定非営利活動法人 沖縄人材クラスタ研究会 代表理事）

「職場の基礎代謝」というキーワードを元にどうすれば基礎代謝が上がっていくのかについて講演していただきました。能力や実力の違いや身の回りの溢れている「不」について、普段仕事をしている中でも気になることが多く、興味を持って聞くことが出来ました。

社員の「不」を解消することで「職場の基礎代謝」がアップし、「組織の生産性」もアップするという、小さな積み重ねで大きな結果が得られることも学びました。

また、この講演を通して自分たちが今後の職場においての捉え方や考え方、改善方法などを知ることが出来て、これからの仕事にも活かせる内容であり、有意義な講演会でした。

（文責：広報出版委員長　長友 耕平）

第1会場　口演

第1群　ターミナル
第2群　災害・医療安全
第3群　患者心理・退院支援

忙しい業務の中取り組まれた活動や研究成果の発表は、どれも発表者の熱意が伝わる内容でした。参加者も自施設での看護活動に役立てようと、熱心に聞き入っていました。

（広報出版委員 西田）

第2会場　口演

第4群　母性
第5群　周術期
第6群　教育

第2会場は常に満席の状態で、立ち見が出るほど大変興味深い内容のものばかりでした。

質問も積極的に行われており、発表者も質問に丁寧に答えられ、会場は活気に溢れていました。

（広報出版委員 牧野）

第3会場　示説

第7群　看護技術
第8群　実態調査に関するもの
第9群　母性・小児看護・指導他

発想性の高い研究が多く、示説パネルの周囲がたくさんの人で埋まっていました。発表者との距離が近く、和気あいあいとした雰囲気の中で質疑応答が行われていました。

（広報出版委員 山﨑）

平成30年度宮崎県看護研究学会を開催して

学会委員長　戸髙 薫

平成30年度は様々な自然災害が発生し、宮崎県も風や水の被害が多くありました。そんな中あいにくの雨にみまわれましたが、平成31年3月2日（土）に平成30年度宮崎県看護研究学会を開催しました。参加者は524名（学生183名を含む）で、口演・示説会場ともに熱心な質疑・応答がなされました。前年度より査読方法の変更を行って、今年度18施設65題の応募があり、16名の選考委員により口演24題、示説19題の発表が行われました。また、今回で2回目となる「看護研究なんでも相談コーナー」は、3名の相談がありました。もっともっと沢山の皆様がご活用できるように今後も続けて行く予定でおります。

特別講演では『職場の基礎代謝～職場の不を取り除き、元気な職場をつくろう～』と題して、特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会　代表理事　白井旬氏をお招きし、ご講演をいただきました。学会委員会では、現場が明るく・元気でいて欲しいとの願いをこめ企画いたしました。明日からの行動のヒントが得られたと思います。

学会の運営に当たり多くの方々のご協力とご支援を頂き深く感謝申し上げます。

今後も皆様のご意見を参考に応募施設の開拓と運営に努めていきたいと思います。

あなたの(看護職)免許は大丈夫?

結婚などに伴い、本籍地や氏名が変わったら、免許の書換えが必要です。また、紛失したり、破ってしまったりした場合は、再交付の手続きを行いましょう。
ここでは看護師等免許に関する各種手続き方法をご説明します。

看護師等免許の修正や、免許証書き換え申請の必要が生じた際の手続き方法です。参考にしてください。

手続き対象者

保健師籍、助産師籍、看護師籍の登録事項のうち、**本籍地都道府県名**(日本国籍を有しない者については、その国籍)・**氏名などが変更になった保健師、助産師、看護師**

※転居(引越し)に伴う住所変更のみで、戸籍の都道府県名や氏名(名前)の変更がない場合、本籍地に変更があった場合でも、同じ都道府県内の変更の場合は手続き不要です。

手続き時期

戸籍(本籍地・名前)変更後、30 日以内
※手続き期限を過ぎても申請は可能ですが、遅延理由書など追加で書類の提出が必要となります。

30日以内だったとは・・・
あ〜忘れていた

手続き場所

原則、住所地を管轄する保健所等(就業者の場合、勤務地を管轄する保健所でも可)

中央保健所 **電話(0985)28-2111**	日南保健所 **電話(0987)23-3141**	都城保健所 **電話(0986)23-4504**	小林保健所 **電話(0984)23-3118**
高鍋保健所 **電話(0983)22-1330**	日向保健所 **電話(0982)52-5101**	延岡保健所 **電話(0982)33-5373**	高千穂保健所 **電話(0982)72-2168**
宮崎市保健所保健医療課 **電話(0985)29-4130**	都城市健康部健康課 **電話(0986)23-2765**	延岡市健康福祉部健康増進課 **電話(0982)22-7014**	椎葉村福祉保健課 **電話(0982)68-7510**

手続きに必要な書類

・看護師等免許証
・戸籍謄本または抄本1部(発行日から6ヶ月以内のもの)
・印鑑(シャチハタ不可)
・申請用紙(各保健所に備付)

住所地の保健所に連絡し、
手続きに必要な物を
確認して行くといいですよ!!

手数料

保・助・看護師は、申請書1通につき、収入印紙…1,000 円
※収入印紙は一般的に保健所では購入できないため、郵便局や県庁などであらかじめ購入しておきましょう。

准看護師の手続きについて

准看護師は、都道府県免許のため交付された都道府県によって手数料(県の収入印紙で購入)が異なります。
他県の免許の場合、郵便為替になることもありますので、事前に保健所にご確認ください。
＊看護職の免許証のコピーをとっておくことをお勧めします。

宮崎日日新聞の情報誌「きゅんと」に、ナースセンターからの情報を掲載しています。
掲載を見たら「きゅんと見ました」とご連絡ください。ナースセンターオリジナルグッズを差し上げます。
ご連絡をお待ちしています。 **【連絡先】 宮崎県ナースセンター 電話0985(58)4525**

～在宅支援室よりお知らせ～

「訪問看護教育ステーション」は研修支援をしています！

平成 30 年度に県内の機能強化型ステーションを「訪問看護教育ステーション」として位置づけ、地域の身近なステーションで学べる研修システムを構築しました。高度医療に対応できる質の高い看護サービスの提供につながる知識・技術が修得できます。

2019年度も協会支援は継続しますので、是非ご活用ください。但し、研修費は自己負担となります。更に自己のキャリアアップを目指したい方は、「訪問看護研修 STEP2」にご参加ください。

訪問看護ステーション

- 小児・重症児や難病の患者さんの受入れ体制を強化したい！
- 利用者・家族のニーズに対応できるスキルを磨き、自信をつけたい！
- 選ばれるステーションを目指したい！

研修申込は協会を経由

訪問看護教育ステーション

- カンファレンス参加
- 手技演習
- 同行訪問
- 見学　　等

まかせて！
一緒に学びましょう!!

※参加希望の方は、所定の「申込書」に必要事項を記入の上、宮崎県看護協会 在宅支援室に FAX でお申込みください。
申込書はホームページからダウンロードできます。

【平成 30 年度の研修参加者の感想】

- 小児看護の経験がなかったため、小児の訪問看護の様子を実際に見学し、対象に対するケアや声かけ、家族への対応を学ぶことができた。
- 訪問看護の事業所は少人数で経営しているところが多いので、他職場で学ぶことが多かった。
- 難病患者へ同行訪問し、1 事例ごとに深い看護が提供されていた。1 日では学びきれなかった。

※写真：研修先のスタッフと記念撮影（右下が研修生）

宮崎県ナースセンターからのお知らせ

宮崎県ナースセンターは 看護職の無料職業紹介所 です。

「自分らしい働き方」を探すサポートをします！！

「ブランクがあるけど、もう一度看護師として働きたい」「新たな分野にチャレンジしたい」など、再就業をお考えの看護職の皆さまを支援します。ナースセンターに登録して、「自分らしい働き方」を見つけましょう。就業相談員がご希望に合う就職先を一緒に探し、求人施設の見学・面談の調整などもお手伝いします。また、身近な場所でサポートできるよう、県内7カ所のハローワークで「看護のシゴト 出前就業相談」を開設しています。就業に関する不安や疑問など、お気軽にご相談ください！

看護職

私に合う職場を見つけたい

- 全国の求人が検索できます。
- 希望に応じた施設を自動マッチング。毎週新しい情報がメールで届きます。
- 相談員がキャリアプランの実現も含めて支援します。

相談

- 来所
- 電話
- インターネット（e ナースセンター）

- 求職登録
- 求人閲覧・問合せ
- 紹介希望・応募

- 求職登録
- 問合せ対応
- 応募受付

求人施設

看護職を採用したい

- 条件にあう人材を簡単に検索できます。
- 求職者に直接メッセージの送信ができ、人材確保のチャンスが広がります。
- 相談員が採用支援も含めて対応します。

面接（選考）採否決定

ナースセンターからの紹介で就職が決まった場合でも、各種「雇用給付金」の申請ができます。また、復職支援の研修を受講された方には、受講証明を発行しますので「求職活動」の申請時にご提出いただけます。

平成 30 年度　理事会報告

	第 7 回	第 8 回
月日	平成 31 年 1 月 19 日（土）	平成 31 年 3 月 16 日（土）
会員数	8,612 名（保健師：230 名　助産師：230 名　看護師：7,536 名　准看護師：616 名）	8,648 名（保健師：232 名　助産師：230 名　看護師：7,567 名　准看護師：619 名）
協議事項	協議 1．基本方針：2019 年度宮崎県看護協会事業計画（案）について：承認 協議 2．事業推進に関する事項 事業報告（平成 3 0 年 1 0 月～1 2 月分）（案）について：承認 協議 3．管理的事項：寄附金の執行について：承認 協議 4．人事関係：今回はなし 協議 5．その他：今回はなし	協議 1．基本方針：2019 年度宮崎県看護協会事業計画の修正（案）について：承認 協議 2．事業推進に関する事項 2－1　2019 年度宮崎県看護協会通常総会提出議題について：承認 1）通常総会プログラム（案） 2）通常総会議長団の選出（案） 3）通常総会提出議案 2－2　2020 年度選挙管理委員会委員の選出について：承認 2－3　2019 年度職能委員並びに常任委員の選任について：承認 2－4　2019 年度予算書（案）について：承認 協議 3．管理的事項 3－1　訪問看護ステーション組織規程の制定について：承認 3－2　2019 年度宮崎県看護協会長表彰候補者の選考について：承認 協議 4．人事関係：今回はなし 協議 5．その他：今回はなし
報告事項	1）2019 年度宮崎県看護協会長表彰候補者の推薦について 2）2020 年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者について 3）平成 30 年度宮崎県看護研究学会について 4）DiNQL について	1）日本看護協会理事会報告 2）「看護の日」記念宮崎県知事表彰推薦について 3）協会訪問看護ステーション運営協議会報告 4）看護職の届出制度について 5）平成 30 年度宮崎県看護研究学会報告
その他		・宮崎大学医学部看護学科の編入試験中止について
お知らせ	平成 31 年 1 月 31 日発行の会報「なでしこ」に、下記のとおり訂正箇所がございました。お詫びして訂正いたします。 【訂正箇所】12 ページ 理事会報告　第 6 回 協議事項 5-2 （誤）日本看護協会名誉会員候補者　→　（正）日本看護協会長表彰候補者	

Let's take a break 春と言えば

このカバーを付けた新しいランドセルを道路で見かけると春を感じますね～

季節限定！
ついつい買っちゃいます

結婚記念日の花が「かすみ草」だったので、見ると春と愛を感じます。

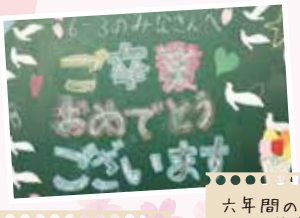
毎年この桜と菜の花のコラボを見るのが楽しみです！

最後がちょっと苦かったです。春は山菜がたくさん出てくるので楽しみです

みなさん花見はしましたか？桜や菜の花を見ながら食べるお弁当は美味しいですよね

春になるとつらくて、つらくて…お花見も室内から楽しみます♪

子どもが見つけた春たち!!



六年間の沢山の思い出が甦り笑顔と涙でいっぱいの卒業式でした。新生活も楽しみにしています。

「旬」

編集後記

新年度がスタートいたしました。気持ちを新たに、「なでしこ」もより一層皆様に愛される広報誌を目指していきたいと思います。

今回の Let`s take a break では「春と言えば」をテーマに、それぞれの感性で写真を撮影してきました。皆さまに少しでも春を感じていただき、癒しを提供できればと思います。

（文責：西田）

広報出版委員

長友　耕平（若　草　病　院）　黒木　千夏（都農町国民健康保険病院）
山﨑みゆき（宮 崎 若 久 病 院）　黒木　恵子（延岡市医師会病院）
牧野　友和（千 代 田 病 院）　西田　枝里（迫　田　病　院）
三角　裕子（宮崎中央眼科病院）　岩切　優典（藤 元 総 合 病 院）
橋本抄矢子（愛 泉 会 日 南 病 院）　岩道　一也（小 林 市 立 病 院）

発行

公益社団法人 宮崎県看護協会
TEL 0985(58)0622　FAX 0985(58)2939
発行責任者／中武 郁子
発　　行／宮崎市学園木花台西 2丁目 4-6
E-mail：mkango@d2.dion.ne.jp
http://www.m-kango.or.jp

【表紙の説明】

宮田眼科病院

宮田眼科病院は「地方においても、最新にして最高の医療を」という理念のもと最新技術を導入して、患者様の視力回復に全職員で取り組んでいます。
当院の特徴として、相談窓口として、カスタマーサポートセンターを外来に設置しています。看護師を中心に、疾病に関する医学的な質問や生活上及び入院上の不安等、患者様個々に応じたサポートに努めています。また、多職種との連携を図り、チーム医療の牽引役としての役割も担っています。
私たちが日頃大切にしている当院の「光あるよろこびをあなたに」という患者様へのメッセージをもとに、視機能と QOL を考慮した患者様へ寄り添う看護をめざし、看護師一同努めてまいります。